

フード&テクノロジー関連 株式ファンド（資産成長型） （愛称：フードテック）

運用報告書（全体版） 第5期

（決算日 2024年1月30日）
（作成対象期間 2023年8月1日～2024年1月30日）

■信託期間終了日を2026年7月30日から2050年7月29日に変更しました。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界の「フードテック」関連株式に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2021年9月27日～2050年7月29日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	フードテック・マザーファンドの受益証券
	フードテック・マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）
組入制限	ベビーファンドの マザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの 株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	(分配落)	税金 分配金	期騰落 中率			
1 期末 (2022年1月31日)	円 8,722	円 0	% △12.8	% 95.6	% -	百万円 7,728
2 期末 (2022年8月1日)	8,866	0	1.7	98.7	-	7,958
3 期末 (2023年1月30日)	8,664	0	△ 2.3	99.2	-	7,491
4 期末 (2023年7月31日)	9,538	0	10.1	99.1	-	7,504
5 期末 (2024年1月30日)	10,042	0	5.3	99.4	-	6,368

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注3) 株式先物比率は買建比率-売建比率です。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：9,538円

期末：10,042円（分配金0円）

騰落率：5.3%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

世界株式市況は、欧米のインフレ率低下により金融緩和姿勢への転換期待が高まったことを背景に、おおむね上昇しました。また投資対象通貨は、対円で上昇（円安）しました。このような環境下において、日本を含む世界の株式の中から「フードテック（FoodTech）」関連株式に投資した結果、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※「フードテック（FoodTech）」は、食（Food）とテクノロジー（Technology）を組み合わせた造語です。食と日々進歩するテクノロジーを融合させ、イノベーションを起こす新たなビジネス領域を意味します。

フード&テクノロジー関連株式ファンド（資産成長型）

年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落	率		
(期首) 2023年 7 月31日	円		%	%	%
	9,538		—	99.1	—
8 月末	9,579		0.4	98.9	—
9 月末	9,175		△3.8	98.7	—
10月末	8,697		△8.8	98.6	—
11月末	9,348		△2.0	99.0	—
12月末	9,596		0.6	99.1	—
(期末) 2024年 1 月30日	10,042		5.3	99.4	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2023.8.1～2024.1.30)

■世界株式市況

世界株式市況は上昇しました。

世界株式市況は、当作成期首より、米国国債の増発やF R B（米国連邦準備制度理事会）の政策金利見通しの引き上げ、米国の政府機関の閉鎖懸念などから長期金利が大幅に上昇したことを受け、下落しました。2023年10月に入ると、つなぎ予算の成立により米国の政府機関の閉鎖が回避されて一時的に反発しましたが、景気の先行き不透明感や企業業績の伸びの鈍化、パレスチナ情勢の悪化、米国金利のさらなる上昇などが嫌気され、続落しました。11月以降は、欧米のインフレ率が予想以上に鈍化し金利が低下したことや、F R B 議長の発言を受けて利下げ観測が高まったことなどを好感し、上昇しました。

■為替相場

為替相場は、主要国を中心に対円で上昇しました。

対円為替相場は、当作成期首より、米国中心に世界的に金利が上昇した一方で日銀は緩和的な金融政策の維持を発表したことから、投資対象通貨は上昇しました。2023年11月から年末にかけては、米国金利の大幅な低下を背景に金利差縮小が意識され、投資対象通貨は対円で下落（円高）しましたが、2024年1月からは、米国やユーロ圏の金利上昇を受けて、再び円安推移へ転じました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「フードテック・マザーファンド」の受益証券を通じて、日本を含む世界の株式の中から「フードテック（FoodTech）」関連株式に投資し、信託財産の成長をめざします。

■フードテック・マザーファンド

日本を含む世界の株式の中から「フードテック（FoodTech）」に関連すると考えられる企業を選定し、各銘柄のテーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見通し、テーマ関連銘柄としての代表性などを考慮して、ポートフォリオを構築します。

ポートフォリオについて

(2023.8.1～2024.1.30)

■当ファンド

「フードテック・マザーファンド」の受益証券を通じて、世界の「フードテック（FoodTech）」関連株式に投資し、信託財産の成長をめざしました。

■フードテック・マザーファンド

日本を含む世界の株式の中から「フードテック（FoodTech）」に関連すると考えられる企業を選定し、各銘柄のテーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見通し、テーマ関連銘柄としての代表性などを考慮して、ポートフォリオを構築しました。

個別銘柄では、UBER TECHNOLOGIES INC（米国）、CHIPOTLE MEXICAN GRILL INC（米国）、MCDONALD'S CORP（米国）などを組入上位としました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、信託財産の成長に資することを目的に、収益分配を見送らせていただきました。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2023年8月1日 ～2024年1月30日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	128

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注4）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。



今後の運用方針

■当ファンド

「フードテック・マザーファンド」の受益証券を通じて、日本を含む世界の株式の中から「フードテック（FoodTech）」関連株式に投資し、信託財産の成長をめざします。

■フードテック・マザーファンド

日本を含む世界の株式の中から「フードテック（FoodTech）」に関連すると考えられる企業を選定し、各銘柄のテーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見通し、テーマ関連銘柄としての代表性などを考慮して、ポートフォリオを構築します。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2023.8.1~2024.1.30)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	66円	0.704%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,386円です。
（投 信 会 社）	(28)	(0.302)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(36)	(0.385)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	9	0.092	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(9)	(0.092)	
有 価 証 券 取 引 税	1	0.011	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株 式）	(1)	(0.011)	
そ の 他 費 用	2	0.019	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(1)	(0.010)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(1)	(0.006)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	78	0.826	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

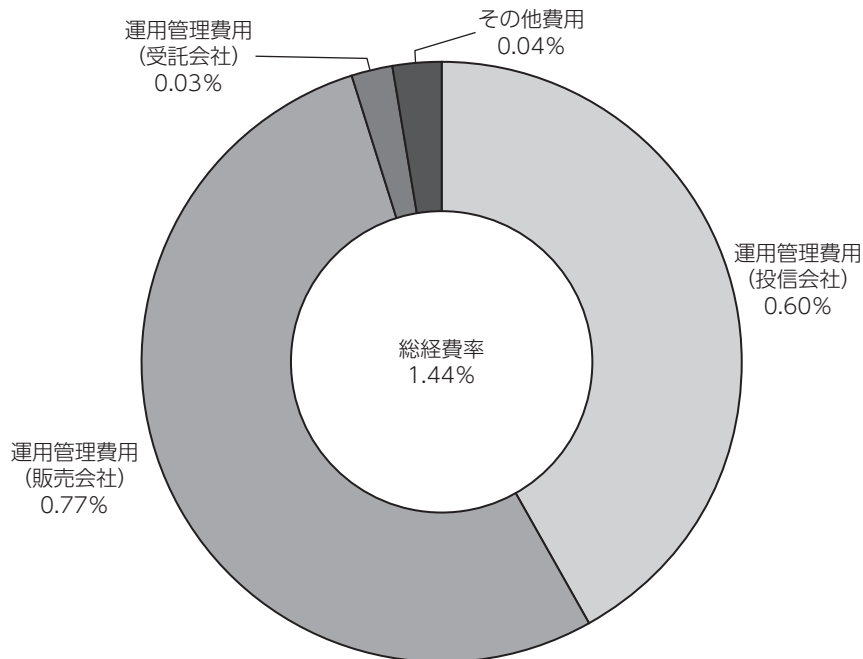
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.44%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

フード&テクノロジー関連株式ファンド（資産成長型）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2023年8月1日から2024年1月30日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
フードテック・マザーファンド	40,317	50,500	1,191,952	1,556,300

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2023年8月1日から2024年1月30日まで)

項 目	当 期
	フードテック・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	5,271,861千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	6,767,501千円
(c) 売買高比率(a)/(b)	0.77

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
フードテック・マザーファンド	5,771,503	4,619,868	6,357,862

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年1月30日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
フードテック・マザーファンド	6,357,862	98.2
コール・ローン等、その他	114,884	1.8
投資信託財産総額	6,472,747	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、1月30日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=147.38円、1香港ドル=18.86円、1イギリス・ポンド=187.45円、1スイス・フラン=171.11円、1デンマーク・クローネ=21.44円、1ノルウェー・クローネ=14.16円、1スウェーデン・クローネ=14.18円、1フィリピン・ペソ=2.618円、1インド・ルピー=1.78円、1ユーロ=159.80円です。

(注3) フードテック・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(6,407,422千円)の投資信託財産総額(6,412,751千円)に対する比率は、99.9%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年1月30日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	6,472,747,496円
コール・ローン等	60,084,929
フードテック・マザーファンド(評価額)	6,357,862,567
未収入金	54,800,000
(B) 負債	103,979,294
未払解約金	55,137,276
未払信託報酬	48,652,069
その他未払費用	189,949
(C) 純資産総額(A-B)	6,368,768,202
元本	6,341,997,325
次期繰越損益金	26,770,877
(D) 受益権総口数	6,341,997,325口
1万口当り基準価額(C/D)	10,042円

* 期首における元本額は7,867,627,498円、当作成期間中における追加設定元本額は150,182,498円、同解約元本額は1,675,812,671円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,042円です。

■損益の状況

当期 自2023年8月1日 至2024年1月30日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 3,500円
受取利息	607
支払利息	△ 4,107
(B) 有価証券売買損益	371,432,732
売買益	395,702,207
売買損	△ 24,269,475
(C) 信託報酬等	△ 48,842,018
(D) 当期損益金(A + B + C)	322,587,214
(E) 前期繰越損益金	△241,225,286
(F) 追加信託差損益金	△ 54,591,051
(配当等相当額)	(△ 545)
(売買損益相当額)	(△ 54,590,506)
(G) 合計(D + E + F)	26,770,877
次期繰越損益金(G)	26,770,877
追加信託差損益金	△ 54,591,051
(配当等相当額)	(△ 545)
(売買損益相当額)	(△ 54,590,506)
分配準備積立金	81,365,428
繰越損益金	△ 3,500

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	81,365,428
(c) 収益調整金	0
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	81,365,428
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	81,365,428
(h) 受益権総口数	6,341,997,325口

《お知らせ》

■信託期間の延長について

信託期間終了日を2026年7月30日から2050年7月29日に変更しました。

フードテック・マザーファンド

運用報告書 第4期（決算日 2024年1月30日）

（作成対象期間 2023年1月31日～2024年1月30日）

フードテック・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

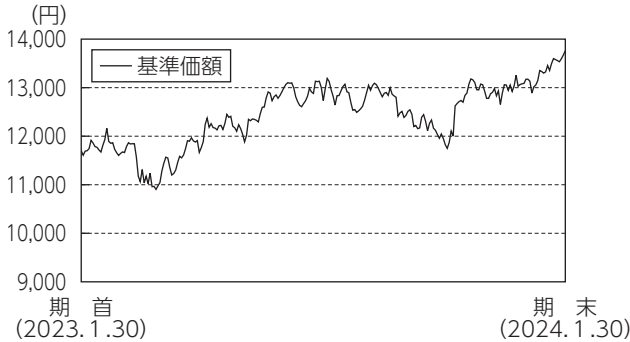
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	日本を含む世界の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額	騰落率	株式比率	株式先比率
	円	%	%	%
(期首) 2023年 1月30日	11,702	-	99.3	-
1月末	11,607	△ 0.8	99.4	-
2月末	11,645	△ 0.5	98.3	-
3月末	11,445	△ 2.2	99.3	-
4月末	11,886	1.6	99.4	-
5月末	12,041	2.9	99.6	-
6月末	13,067	11.7	99.3	-
7月末	12,977	10.9	99.2	-
8月末	13,049	11.5	99.1	-
9月末	12,511	6.9	98.8	-
10月末	11,873	1.5	98.8	-
11月末	12,779	9.2	99.2	-
12月末	13,133	12.2	99.3	-
(期末) 2024年 1月30日	13,762	17.6	99.5	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。
 (注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：11,702円 期末：13,762円 騰落率：17.6%

【基準価額の主な変動要因】

世界株式市況は、欧米のインフレ率低下により金融緩和姿勢への転換期待が高まったことを背景に、おおむね上昇しました。また、投資対象通貨は円に対して上昇（円安）しました。このような環境下において、日本を含む世界の株式の中から「フードテック（FoodTech）」関連株式に投資した結果、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※「フードテック（FoodTech）」は、食（Food）とテクノロジー（Technology）を組み合わせた造語です。食と日々進歩するテクノロジーを融合させ、イノベーションを起こす新たなビジネス領域を意味します。

◆投資環境について

○世界株式市況

世界株式市況は上昇しました。

世界株式市況は、当作成期首から2023年3月半ばにかけて、予想を上回る米国経済指標の発表が相次ぎ米国中心に世界的に金利が上昇したことや、米国地方銀行の経営破綻を受け、下落しました。その後は、F R B（米国連邦準備制度理事会）による緊急融資枠の新設で資金繰り懸念が後退したことなどを好感し、株式市況は上昇

に転じました。4月以降は、米国地方銀行の経営不安や米国の債務上限問題への懸念が上値を抑えた一方、予想を上回る企業決算の発表が好感され、底堅い展開となりました。5月下旬からは、AI（人工知能）関連の半導体企業の強気見通しや米国の債務上限問題の解決、インフレ率の鈍化などが好感され、上昇しました。8月以降は、米国国債の増発やF R Bの政策金利見通しの引き上げ、米国の政府機関の閉鎖懸念などから長期金利が大幅に上昇したことを受け、株価は下落しました。10月に入ると、つなぎ予算の成立により米国の政府機関の閉鎖が回避され一時的に反発しましたが、景気の先行き不透明感や企業業績の伸びの鈍化、パレスチナ情勢の悪化、米国金利のさらなる上昇などが嫌気され、続落しました。11月以降は、欧米のインフレ率が予想以上に鈍化し金利が低下したことや、F R B議長の発言を受けて利下げ観測が高まったことなどを好感し、上昇しました。

○為替相場

為替相場は対円で上昇しました。

対円為替相場は、当作成期首より、堅調な米国の経済指標を受けて米国金利が大きく上昇したことで、円安推移となりました。2023年3月は、信用不安の拡大により米国金利が大きく低下したことや、リスク回避による円買い需要の高まりなどから、投資対象通貨は下落（円高）しました。4月以降は、米国やユーロ圏での利上げおよび今後の利上げ見通しの引き上げ等から、米ドルやユーロを中心に投資対象通貨は対円で上昇基調を強めました。7月には、日本の政府要人等による円安けん制発言や日銀の政策運営の柔軟化決定を受け、投資対象通貨は下落しました。しかし8月以降は、米国中心に世界的に金利が上昇した一方で日銀は緩和的な金融政策の維持を発表したことから、投資対象通貨は対円で上昇しました。11月から年末にかけては、米国金利の大幅な低下を背景に金利差縮小が意識され、投資対象通貨は対円で下落しましたが、2024年1月からは、米国やユーロ圏の金利上昇を受けて、再び円安推移へ転じました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

日本を含む世界の株式の中から「フードテック（FoodTech）」に関連すると考えられる企業を選定し、各銘柄のテーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見通し、テーマ関連銘柄としての代表性などを考慮して、ポートフォリオを構築します。

◆ポートフォリオについて

日本を含む世界の株式の中から「フードテック（FoodTech）」に関連すると考えられる企業を選定し、各銘柄のテーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見通し、テーマ関連銘柄としての代表性などを考慮して、ポートフォリオを構築しました。

個別銘柄では、UBER TECHNOLOGIES INC（米国）、CHIPOTLE MEXICAN GRILL INC（米国）、MCDONALD'S CORP（米国）などを組入上位としました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

日本を含む世界の株式の中から「フードテック（FoodTech）」に関連すると考えられる企業を選定し、各銘柄のテーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見通し、テーマ関連銘柄としての代表性などを考慮して、ポートフォリオを構築します。

フードテック・マザーファンド

■ 1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料 (株式)	16円 (16)
有価証券取引税 (株式)	2 (2)
その他費用 (保管費用) (その他)	3 (2) (1)
合計	21

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

株式

(2023年1月31日から2024年1月30日まで)

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
外	アメリカ	百株 1,171 (-)	千アメリカ・ドル 13,125 (-)	百株 3,821.23	千アメリカ・ドル 22,173
	香港	百株 320 (-)	千香港ドル 3,998 (-)	百株 1,650	千香港ドル 28,872
国	スイス	百株 206 (-)	千スイス・フラン 466 (△62)	百株 913	千スイス・フラン 1,975

■ 主要な売買銘柄

株式

(2023年1月31日から2024年1月30日まで)

当				期					
買		付		売		付			
銘柄	柄	株数	金額	平均単価	銘柄	柄	株数	金額	平均単価
ECOLAB INC (アメリカ)		千株 16.8	千円 430,314	円 25,613	TOAST INC CLASS A (アメリカ)		千株 190.8	千円 481,602	円 2,524
DOORDASH INC - A (アメリカ)		32.6	418,111	12,825	UBER TECHNOLOGIES INC (アメリカ)		51.36	402,210	7,831
AGCO CORP (アメリカ)		18.2	337,583	18,548	GEA GROUP AG (ドイツ)		67.8	390,400	5,758
ALFA LAVAL AB (スウェーデン)		59	304,438	5,159	CORTEVA INC (アメリカ)		47.7	359,784	7,542
DOMINO'S PIZZA INC (アメリカ)		3.7	209,551	56,635	SIG GROUP N AG (スイス)		91.3	327,849	3,590
NOVOZYMES A/S-B SHARES (デンマーク)		27	206,355	7,642	SYMRISE AG (ドイツ)		21	305,647	14,554
ZOMATO LTD (インド)		1,143.2	199,684	174	FMC CORP (アメリカ)		21.4	297,232	13,889
ZOETIS INC (アメリカ)		5.8	137,861	23,769	YUM CHINA HOLDINGS INC (アメリカ)		40	272,058	6,801
UBER TECHNOLOGIES INC (アメリカ)		22.8	103,804	4,552	MEITUAN-CLASS B (ケイマン諸島)		125	258,250	2,066
STARBUCKS CORP (アメリカ)		5.8	87,953	15,164	STARBUCKS CORP (アメリカ)		18.475	258,233	13,977

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
外	デンマーク	百株 270 (-)	千デンマーク・クローネ 9,789 (-)	百株 140	千デンマーク・クローネ 4,610
	ノルウェー	百株 - (-)	千ノルウェー・クローネ - (-)	百株 412.6	千ノルウェー・クローネ 6,626
	スウェーデン	百株 590 (-)	千スウェーデン・クローネ 22,567 (-)	百株 138	千スウェーデン・クローネ 5,340
	インド	百株 11,432 (-)	千インド・ルピー 113,219 (-)	百株 -	千インド・ルピー -
国	ユーロ (ドイツ)	百株 105 (-)	千ユーロ 562 (△37)	百株 888	千ユーロ 4,451

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
外国株式

銘柄	期首		期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
DOMINO'S PIZZA INC	61.32	62.57	2,712	399,699	一般消費財・サービス
MIDDLEBY CORP	202.56	119.56	1,731	255,201	資本財・サービス
AGCO CORP	—	150.5	1,860	274,153	資本財・サービス
DEERE & CO	100	75.15	2,988	440,454	資本財・サービス
CHIPOTLE MEXICAN GRILL INC	24.65	16.02	3,852	567,716	一般消費財・サービス
ZOETIS INC	135.37	152.22	2,934	432,441	ヘルスケア
MCDONALD'S CORP	135.75	126.85	3,707	546,478	一般消費財・サービス
UBER TECHNOLOGIES INC	900	614.4	4,115	606,505	資本財・サービス
CORTEVA INC	702	225	1,033	152,306	素材
NUTRIEN LTD	130	—	—	—	素材
DOORDASH INC - A	—	285.8	3,156	465,228	一般消費財・サービス
TOAST INC CLASS A	2,010	167	313	46,148	金融
YUM! BRANDS INC	206	153	1,997	294,379	一般消費財・サービス
ECOLAB INC	—	150.1	2,990	440,775	素材
FMC CORP	214	—	—	—	素材
STARBUCKS CORP	369	242.25	2,272	334,892	一般消費財・サービス
アメリカ・ドル 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	5,190.65 13銘柄	2,540.42 14銘柄	35,665 5,256,380	<82.7%>
(香港)	百株	百株	千香港ドル	千円	
YUM CHINA HOLDINGS INC	400	—	—	—	一般消費財・サービス
MEITUAN-CLASS B	1,170	240	1,615	30,462	一般消費財・サービス
香港ドル 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	1,570 2銘柄	240 1銘柄	1,615 30,462	< 0.5%>
(スイス)	百株	百株	千スイス・フラン	千円	
SIG GROUP N AG	1,125	418	785	134,465	素材
スイス・フラン 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	1,125 1銘柄	418 1銘柄	785 134,465	< 2.1%>
(デンマーク)	百株	百株	千デンマーク・クローネ	千円	
NOVOZYMES A/S-B SHARES	140	270	9,757	209,207	素材
デンマーク・クローネ 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	140 1銘柄	270 1銘柄	9,757 209,207	< 3.3%>
(ノルウェー)	百株	百株	千ノルウェー・クローネ	千円	
TOMRA SYSTEMS ASA	412.6	—	—	—	資本財・サービス
ノルウェー・クローネ 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	412.6 1銘柄	— —	— —	< —>
(スウェーデン)	百株	百株	千スウェーデン・クローネ	千円	
ALFA LAVAL AB	—	452	16,886	239,453	資本財・サービス
スウェーデン・クローネ 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	— 1銘柄	452 1銘柄	16,886 239,453	< 3.8%>
(インド)	百株	百株	千インド・ルピー	千円	
ZOMATO LTD	—	11,432	154,960	275,830	一般消費財・サービス
インド・ルピー 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	— 1銘柄	11,432 1銘柄	154,960 275,830	< 4.3%>

銘柄	期首		期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ (ドイツ)	百株	百株	千ユーロ	千円	
GEA GROUP AG	912	307	1,143	182,694	資本財・サービス
SYMRISE AG	178	—	—	—	素材
国小計	株数、金額 銘柄数<比率>	1,090 2銘柄	307 1銘柄	1,143 < 2.9%>	
ファンド合計	株数、金額 銘柄数<比率>	9,528.25 20銘柄	15,659.42 20銘柄	— 6,328,493	<99.5%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < —>内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年1月30日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 6,328,493	% 98.7
コール・ローン等、その他	84,257	1.3
投資信託財産総額	6,412,751	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、1月30日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=147.38円、1香港ドル=18.86円、1イギリス・ポンド=187.45円、1スイス・フラン=171.11円、1デンマーク・クローネ=21.44円、1ノルウェー・クローネ=14.16円、1スウェーデン・クローネ=14.18円、1フィリピン・ペソ=2.618円、1インド・ルピー=1.78円、1ユーロ=159.80円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産 (6,407,422千円) の投資信託財産総額 (6,412,751千円) に対する比率は、99.9%です。

フードテック・マザーファンド

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年1月30日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	6,500,724,776円
コール・ローン等	13,173,324
株式(評価額)	6,328,493,500
未収入金	156,605,627
未収配当金	2,452,325
(B) 負債	142,797,490
未払金	87,997,490
未払解約金	54,800,000
(C) 純資産総額(A - B)	6,357,927,286
元本	4,619,868,164
次期繰越損益金	1,738,059,122
(D) 受益権総口数	4,619,868,164口
1万口当り基準価額(C/D)	13,762円

* 期首における元本額は6,390,179,218円、当作成期間中における追加設定元本額は75,770,297円、同解約元本額は1,846,081,351円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
フード&テクノロジー関連株式ファンド(資産成長型) 4,619,868,164円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は13,762円です。

■損益の状況

当期 自2023年1月31日 至2024年1月30日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	65,735,676円
受取配当金	62,998,766
受取利息	2,566,636
その他収益金	172,195
支払利息	△ 1,921
(B) 有価証券売買損益	1,086,233,348
売買益	2,103,092,960
売買損	△1,016,859,612
(C) その他費用	△ 1,827,310
(D) 当期損益金(A + B + C)	1,150,141,714
(E) 前期繰越損益金	1,087,806,354
(F) 解約差損益金	△ 517,018,649
(G) 追加信託差損益金	17,129,703
(H) 合計(D + E + F + G)	1,738,059,122
次期繰越損益金(H)	1,738,059,122

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。